

# 石川県教育支援センター

## やすらぎ加賀通信

第147号

2023/3/17

かもまるくん  
ですっ。



加賀市標章

コロナとインフルエンザに悩まされた冬も去り、着実に春の暖かな空気が近づいていることを感じる頃となりました。新学期に向け様々な形の準備をしている方も多いでしょう。新たな門出に、心よりエールを送ります。

やすらぎ加賀教室の一年間の活動も一区切りとなります。今年度はスクールカウンセラーが毎週活動することとなり、相談業務に一層の充実が図られました。皆さんのご協力に深く感謝しております。

また来年度も、どうぞよろしくお願ひいたします。



加賀聖城高校のご近所のご庭で、鮮やかなクロッカスが咲いています。

### 相 談 状 況

	入室相談	訪問相談	電話相談	合計	通室生徒
4月	6	12	0	18	0
5月	10	2	0	12	0
6月	7	10	4	21	0
7月	5	8	0	13	0
8月	17	5	0	22	0
9月	10	8	1	19	0
10月	7	15	1	23	0
11月	13	8	0	21	0
12月	13	10	0	23	0
1月	9	5	0	14	0
2月	11	3	0	14	0
3月	2	0	0	0	0
合計	110	86	6	202	0
昨年度	55	21	14	90	0

(2023年3月10日現在)

## 加賀フレンドシップ反省会

**去る2月24日（金）、加賀聖城高校の校長室において、今年度の活動を振り返る反省会を行いました。**

平成 17 年度より金沢大学原田克巳准教授のお世話で、大学生にこの事業に参加してもらい大きな成果を上げています。

### （活動を終えての学生の感想）

#### Aさん

担当の児童が小学6年生ということもあり、1月ではなく2月まで活動を続けたかったという思いがありました。また、自分が参加してみてより多くの学生に参加してほしいと思いました。なかなか学校で大学生という立場で子どもと関わることがないので、とても貴重な経験でした。ありがとうございました。

#### Bさん

教室に入れない子供たちがどのように学校で過ごしているのかを一緒に過ごしながら見ることができた貴重な体験をさせていただき、とてもありがたかったです。

#### Cさん

実際に子どもたちと交流することで、想像とのギャップや新しい発見が得られ非常に勉強になりました。また、教室の先生方が皆様優しく、訪問の度お心遣いをいただいて、大変感謝しております。貴重な経験をありがとうございました。

#### Dさん

これからも加賀フレンドシップの活動は続けて、不登校生徒の成長とその未然防止に役立てることを期待しています。

### （学校側からの意見や感想）

- ・進学のことなどで悩んでいた男子生徒が、自分の気持ちを話すことで、友達にはできない相談をすることができた。後半は、学生との面談のために登校してくるようになった。
- ・単級の学校でスタッフが限られており、別室登校の児童の支援がなかなか行き届かない現状がある。フレンドシップのおかげで見守ってもらえている安心感があった。
- ・個別に手厚く支援したくても人手不足で難しい時があり、このような活動があり児童とかかわってくれる人が増えることは非常にありがたく思っている。今後も継続してほしい。
- ・4年生児童は登校しぶりが続いており、その中で大学生と過ごす時間が楽しみだと話していた。友達との関わりの少ない中、大学生とお話ができるのが児童にとっては安心できる時間となった。
- ・普段会う機会の少ない外部の人、特に年齢が近い大学生の方との交流は通室している子供たちにとって良いものとなっている。あたたかく接してもらえたことで子供たちの表情は明るく、社会性も高まったと感じられた。



- ・人と接する機会の多くない子供たちにとって、人とふれあう機会が持てた。また、大学生の生活や文化の違いなども知ることができた。
- ・学生さんが来て下さる日が登校の励みになっていたように思う。当日は帰られた後も楽しそうに明るく過ごす様子が見られた。また、来て下さる日の登校が早くなった。
- ・あたたかく関わって下さりありがたかった。学生さんにとっても現場の雰囲気に触れることができ、今後教員を目指す上で意欲につながったり、思いに少し変化があったりと良い機会になっていたようである。